

報告済

令和 7年 7月14日

(一財) 埼玉県建築
安全協会 受付

この防火設備は、建築
基準法第 12 条第 3 項
の規定による定期報告
が提出されたことを証
します。

検査年月日 令和 7年 7月 7日

所在地

入間市仏子1084-12

名称

入間市立図書館
[西武分館]

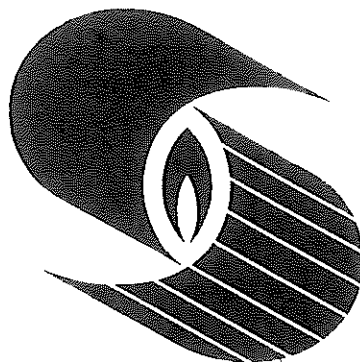
対象設備

防火シャッター

(川越センター)

(9349)

発行 一般財団法人 埼玉県建築安全協会



防火設備 定期検査報告済証 埼玉県

報告先

有効期限

令和 8年 7月26日

検査資格

号

検査者氏名

台帳番号

G-01-25-0005

発行 一般財団法人 埼玉県建築安全協会

防火設備定期報告に関する通知書

令和7年7月25日

入間市立図書館 西武分館 (指定管理者 株式会社 図書館流通センター) 分館長 様

令和7年7月14日 に定期報告を受けましたが、下記の不都合がありますので、改善(補修)を検討してください。

埼玉県川越建築安全センター所長

記

建築物名称	入間市立図書館 [西武分館]
所在地	入間市仏子1084-12
建築物の概要	図書館 鉄筋コンクリート造 地上2階 延べ面積2120.116㎡
防火設備の概要	☐ 防火扉 ☒ 防火シャッター ☐ 耐火クロスクリーン ☐ ドレンチャー ☐ その他
指摘事項	■防火シャッター <既存不適格> 現行法に適合するよう改善に努めてください。 (10) 防火シャッター：危害防止装置（人の通行の用に供する部分に設ける防火シャッターに係るものに限る。）：危害防止用連動中継器の配線の状況 (11) 防火シャッター：危害防止装置（人の通行の用に供する部分に設ける防火シャッターに係るものに限る。）：危害防止装置（人の通行の用に供する部分に設ける防火シャッターに係るものに限る。）用予備電源の劣化及び損傷の状況 (12) 防火シャッター：危害防止装置（人の通行の用に供する部分に設ける防火シャッターに係るものに限る。）：危害防止装置（人の通行の用に供する部分に設ける防火シャッターに係るものに限る。）用予備電源の容量の状況 (13) 防火シャッター：危害防止装置（人の通行の用に供する部分に設ける防火シャッターに係るものに限る。）：座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況 (14) 防火シャッター：危害防止装置（人の通行の用に供する部分に設ける防火シャッターに係るものに限る。）：作動の状況
指定改善(補修)期間	-----

連絡先 埼玉県川越建築安全センター 監察担当
電話番号：049-243-2797



定期検査報告書

(防火設備)

(第一面)

建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果を報告します。
この報告書に記載の事項は事実に相違ありません。

特定行政庁

川越建築安全センター所長 様

7 7 18
年 月 日

入間市立図書館 西武分館

報告者氏名 指定管理者 株式会社 図書館流通センター
分館長

検査者氏名

【1. 所有者】

【イ. 氏名のフリガナ】 イルマシチョウ スギシマ リイチロウ
【ロ. 氏名】 入間市長 杉島 理一郎
【ハ. 郵便番号】 358-8511
【ニ. 住所】 埼玉県入間市豊岡1丁目16-1
【ホ. 電話番号】 04-2966-1111

【2. 管理者】

【イ. 氏名のフリガナ】 イルマシツトショカン セイブブンカン(シティカトリック カブシキガイインツトショカンリユウウセンター) ブンカンチョウ
【ロ. 氏名】 入間市立図書館 西武分館(指定管理者 株式会社図書館流通センター) 分館長
【ハ. 郵便番号】 358-0053
【ニ. 住所】 埼玉県入間市仏子1084-12
【ホ. 電話番号】 04-2932-2411

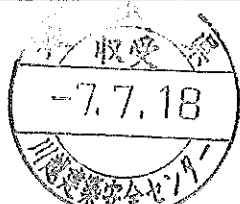
【3. 報告対象建築物】

【イ. 所在地】 埼玉県 入間市 仏子1084-12
【ロ. 名称のフリガナ】 イルマシツトショカン セイブブンカン
【ハ. 名称】 入間市立図書館 西武分館
【ニ. 用途】 図書館

【4. 検査による指摘の概要】

☒ 要是正の指摘あり (☒ 既存不適格) ☐ 指摘なし

(台帳番号: G - 01 - 25 - 0005)

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
年 月 日	 	
第 号		
係員氏名		

次の定期検査の提出
期限は 8 年 7 月 26 日まで

(第二面)

防火設備の状況等

【1. 建築物の概要】

【イ. 階数】 地上 2 階 地下 階
 【ロ. 建築面積】 1,168.178 m²
 【ハ. 延べ面積】 2,120.116 m²

【2. 確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】 平成 4 年 2 月 13 日 第 2721 号
 【ロ. 確認済証交付者】 ☒ 建築主事等 ☐ 指定確認検査機関 ()
 【ハ. 検査済証交付年月日】 平成 5 年 3 月 10 日 第 437 号
 【ニ. 検査済証交付者】 ☒ 建築主事等 ☐ 指定確認検査機関 ()

【3. 検査日等】

【イ. 今回の検査】 令和 7 年 7 月 7 日 実施
 【ロ. 前回の検査】 ☒ 実施 (令和 6 年 8 月 7 日 報告) ☐ 未実施
 【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】 ☒ 有 ☐ 無

【4. 防火設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録 第 号
 防火設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】 株式会社
 () 建築士事務所 () 知事登録 第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

(その他の検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録 第 号
 防火設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】 株式会社
 () 建築士事務所 () 知事登録 第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【5. 防火設備の概要】

【イ. 避難安全検証法等の適用】

☐ 区画避難安全検証法 (階) ☐ 階避難安全検証法 (階)
☐ 全館避難安全検証法 ☐ その他 ()

【ロ. 防火設備】

☐ 防火扉 (枚) ☒ 防火シャッター (1 枚)
☐ 耐火クロススクリーン (枚) ☐ ドレンチャー (台)
☐ その他 (台)

【6. 防火設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 ☒ 要是正の指摘あり (☒ 既存不適格) ☐ 指摘なし

【ロ. 指摘の概要】

【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (年 月に改善予定) ☒ 無

【7. 防火設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 ☐ 有 ☒ 無

【ロ. 不具合記録】 ☐ 有 ☒ 無

【ハ. 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 (年 月に改善予定) ☐ 予定なし

【8. 備考】

検査結果表 (防火シャッター)

当該検査に関与した検査者	氏 名		検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検 査 事 項	検査結果			担当 検査者 番号		
			指摘 なし	要 是 正	既存 不適格			
(1)	防火 シャッ ター	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置並びに照明器具及び懸垂物等の状況	○				
(2)		駆動装置	軸受け部のブラケット、巻取りシャフト及び開閉機の取付けの状況※	—	—	—	—	
(3)			スプロケットの設置の状況※	—	—	—	—	
(4)			軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況※	—	—	—	—	
(5)			ローラチェーン又はワイヤーロープの劣化及び損傷の状況	○			1	
(6)	カーテン部	スラット及び座板の劣化等の状況	○			1		
(7)		吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況	○			1		
(8)	ケース	劣化及び損傷の状況	○			1		
(9)	まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況	○			1		
(10)	危害防止装置（人の通行の用に供する部分に設ける防火シャッターに係るものに限る。）	危害防止用連動中継器の配線の状況		○	○	1		
(11)		危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況		○	○	1		
(12)		危害防止装置用予備電源の容量の状況		○	○	1		
(13)		座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況		○	○	1		
(14)		作動の状況		○	○	1		
(15)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			1	
(16)			感知の状況	○			1	
(17)		温度ヒューズ装置	設置の状況	—	—	—	—	
(18)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○			2	
(19)				結線接続の状況	○			2
(20)				接地の状況	○			2
(21)				予備電源への切り替えの状況	○			2
(22)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1	
(23)				容量の状況	○			1
(24)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			1	
(25)	手動閉鎖装置	設置の状況	○			1		
(26)	総合的な作動の状況	防火シャッターの閉鎖の状況	○			1		
(27)		防火区画の形成の状況	—	—	—	—		

上記以外の検査項目

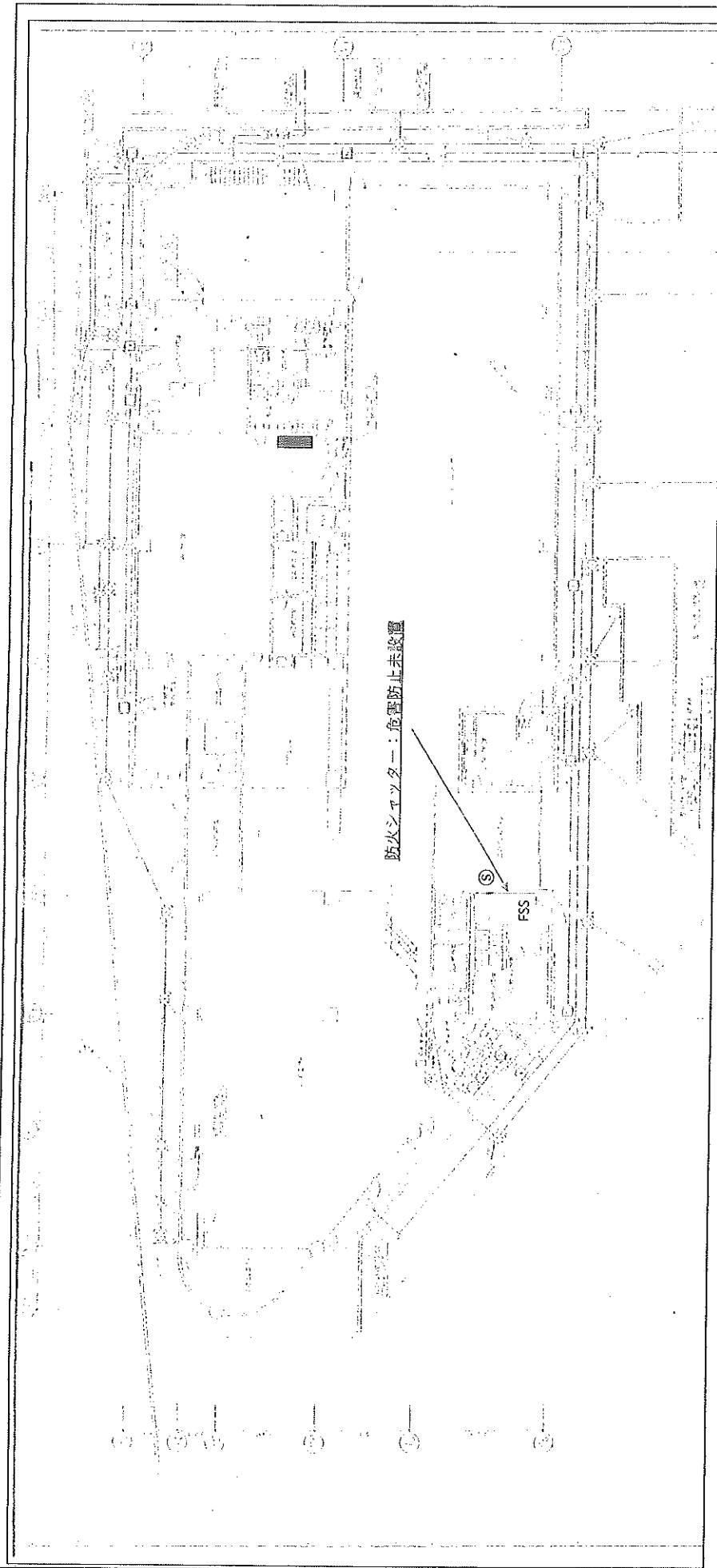
特記事項

番号	検査項目	指摘の具体的内容等	改善の具体的内容等	改善（予定）年月
(10)	防火シャッター：危害防止装置	危害防止装置未設置	要設置	無
(11)	防火シャッター：危害防止装置	危害防止装置未設置	要設置	無
(12)	防火シャッター：危害防止装置	危害防止装置未設置	要設置	無
(13)	防火シャッター：危害防止装置	危害防止装置未設置	要設置	無
(14)	防火シャッター：危害防止装置	危害防止装置未設置	要設置	無

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、その「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「-」を記入してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表(い)欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表(い)欄に掲げる検査項目について同表(ろ)欄に掲げる検査事項のいずれかが同表(に)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入不要です。
- ⑩ ※欄は、日常的に開閉するものについてのみ記入してください。
- ⑪ 「上記以外の検査項目」欄は、第2第2項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。また、第2第3項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該認定検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。
- ⑫ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を()書きで記入してください。
- ⑬ 各階平面図を別添1の様式に従い添付し、防火シャッターの設置されている箇所及び指摘(特記すべき事項を含む)のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第一号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑭ 要是正とされた検査項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

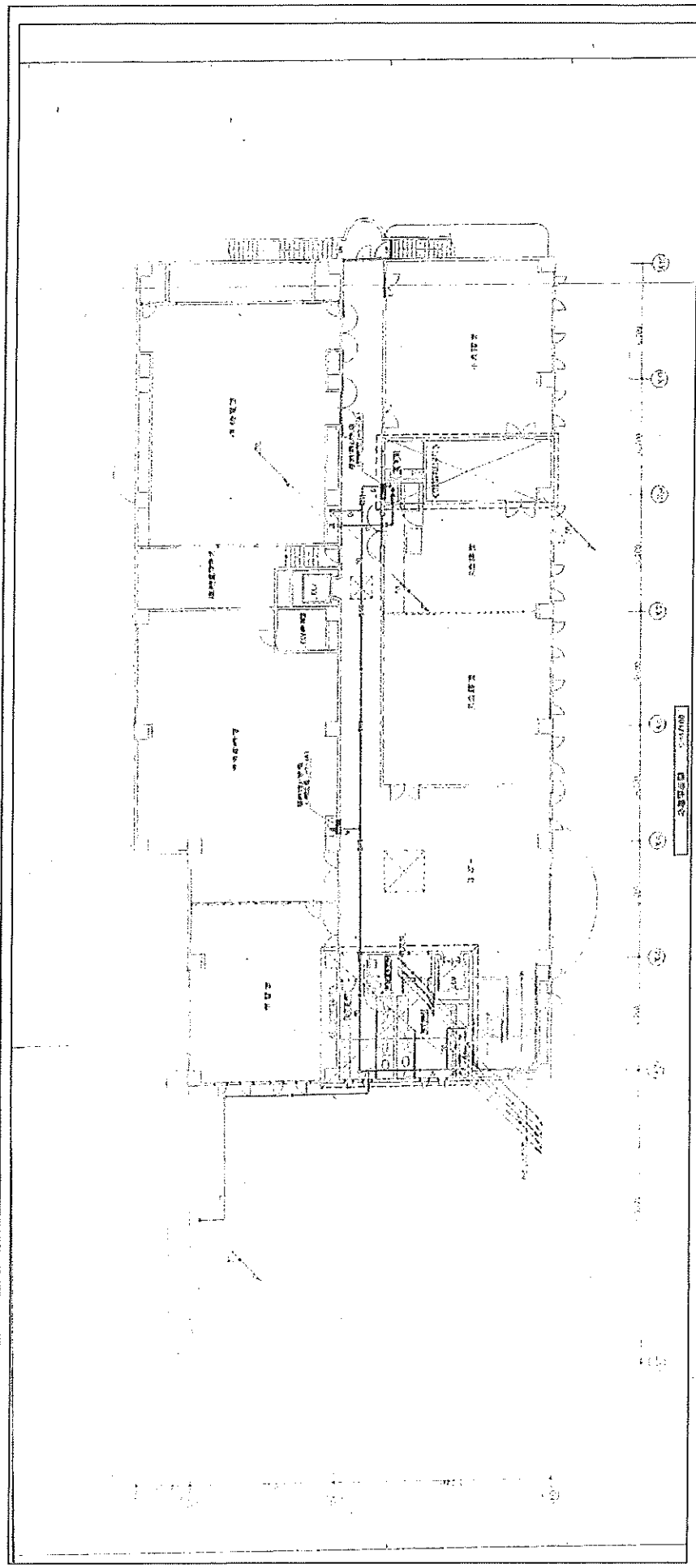
検査結果図



凡例	
□ FSD	防火扉
□ FSS	防火シャッター
⑤	感知器
■	運動操作盤

(注) 各階平面図を添付し、検査の対象となる防火設備の設置されている箇所及び指漏(特記すべき事項を含む)のあった箇所を明記すること。

検査結果図



2階平面図

凡例	防火扉
□FSD	防火シャッター
□FSS	感知器
⑤	運動操作盤

注) 各階平面図を添付し、検査の対象となる防火設備の設置されている箇所及び指箇所(特記すべき事項を含む)のあった箇所を明記すること。

関係写真

部位	番号	検査項目	検査結果
	別記2 10～14	危害防止装置	☒ 要是正 ☐ その他
		特記事項 1階 エントランス防火シャッター危害防止装置未設置 (既存不適合)	

部位	番号	検査項目	検査結果
			☐ 要是正 ☐ その他
写真貼付		特記事項	

(注意)

- ① この書類は、検査の結果で「要是正」とされた項目のうち、「既存不適合」ではない項目について作成してください。また、「既存不適合」及び「指摘なし」の項目についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目がない場合は、この書類は省略しても構いません。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「部位」欄の「番号」、「検査項目」は、それぞれ別記様式の番号、検査項目に対応したものを記入してください。
- ④ 「検査結果」欄は、検査の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑤ 写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。